



タイトル「**2023年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT3556		
科目名	外交史		
担当教員	小谷 賢		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	火 1		
講義室	1502	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門科目		
科目中分類	専門展開		
科目小分類	専門・危機管理		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 D P 1-E 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し、利用することができる。 D P 4-I 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 E 1 学識と専門技能（40%） F 1 探求と論拠（30%） I 1 理解・分析と読解（20%） I 3 情報分析（10%）		
教員の実務経験	特になし		
成績ターゲット区分	成績ターゲット区分 3 発展期 ～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	厳密な意味で言えば、戦争の対義語は平和よりも外交の方が近いのではないのでしょうか。外交は戦争に至らないよう、政治と対話による危機管理の手法とも言えます。特に近代ヨーロッパでは大きな戦争が頻発したため、外交によってそれを未然に防ごうという不断の努力が行われてきました。日本も1941年の日米交渉に失敗した結果、太平洋戦争を決断したという歴史的な経緯がある以上、そこから学べる教訓も少なくありません。現在の日本は緊張する東アジアの国際環境に置かれており、それをうまく乗り切ることができるかどうかは、外交手腕によるところも大きいでしょう。外交手段による危機管理について検討し、考察を行っていきます。授業形態は講義形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 （キーワード）・危機管理・安全保障・インテリジェンス		
授業の趣旨	■ 副題 他国との外交交渉による危機管理の歴史。外交によっていかに戦争を回避してきたのか、各国間での協調体制を作り上げてきたのか。 ■ 授業の目的 古今東西の外交の歴史を学ぶことで、各国の外交の特徴や日本の外交政策の歴史を知り、現在、日本が諸外国と抱える問題について考えていく。 ■ 授業のポイント 西欧や日本の外交に関して歴史的に検討、考察することにより、外交による危機管理の重要性、特に外交交渉が失敗して戦争を招いた事例を学ぶとともに、国際関係における外交の役割について一般的な知識を修得することを目的とする。		

総合到達目標	・諸外国の外交の歴史を学ぶことで、我々に馴染みが薄い外交というもののイメージを掴めるようにする。 ・外交によって戦争を回避した事例やその逆の事例を学ぶことで、危機管理における交渉の重要性を知る。 ・なぜ現在、日本が周辺諸国と外交的に上手くいっていないのか、その原因について説明できるようにする。	
成績評価方法	以下の方法で総合的に評価する。 (適用ルーブリック：割合) E1－70%, I3－30% (成績評価手段) リアクションペーパー×14(専門知識の理解について)：70%、レポート(専門知識の応用、与えられた材料による情報分析)：30% (フィードバック方法) 授業時間中に解説を行う。	
履修条件	安全保障論1(RMG T 3 5 5 1)と国際政治学(RMG T 3 5 5 2)を取っていることが望ましいが、必須条件ではない。	
履修上の注意点	新聞などニュースに接することで、現在の日本外交が抱える問題点について考えをめぐらしておくこと。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ オリエンテーション、外交とは ②授業概要 授業の全体の構成、授業の目的と進め方、到達目標、成績の評価方法について説明を行う。コンピテンス: E1, F1, I1。 ③予習 特になし。 ④復習(240分) 細谷雄一『外交』を通読すること。
	2	①授業テーマ 戦前日本外交史① ②授業概要 幕末から明治初期の日本と諸外国との関係について説明できるようになる。コンピテンス: E1, F1, I1。 ③予習(120分) 北岡伸一『日本政治史』の第1-2章を読んでおく。 ④復習(120分) 新聞のニュースなどから外交に関するトピックを探して抜き出しておく。
	3	①授業テーマ 戦前日本外交史② ②授業概要 明治初期の条約改正交渉が理解できるようになる。コンピテンス: E1, F1, I1。 ③予習(120分) 北岡伸一『日本政治史』の第5章を読んでくる。 ④復習(120分) 配布した資料を基に、条約改正とは何だったのかについて纏めてみる。
	4	①授業テーマ 戦前日本政治外交史③ ②授業概要 日清、日露戦争。明治期の初の対外戦争となった日清、日露戦争を通じて当時の日本政府の危機管理について理解できるようになる。コンピテンス: E1, F1, I1。 ③予習(120分) 北岡伸一『日本政治史』の第7章を読んでくる。 ④復習(120分) これまでの授業の内容を纏めておく。
	5	①授業テーマ 戦前日本政治外交史④ ②授業概要 第一次世界大戦と日本について理解できるようになる。コンピテンス: E1, F1, I1。 ③予習(120分) 北岡伸一『日本政治史』の第8章を読んでくる。 ④復習(120分) 国際連盟について調べ、なぜそれらが機能しなかったのかを考えてみる。
	6	①授業テーマ 戦前日本政治外交史⑤ ②授業概要 ワシントン体制と日本。当時の軍縮の考え方について理解できるようになる。コンピテンス: E1, F1, I1。 ③予習(120分) 北岡伸一『日本政治史』第10章を読んでくる。 ④復習(120分) ワシントン体制とは何だったのかについて考える。
	7	①授業テーマ 戦前日本政治外交史⑥ ②授業概要 満州事変と日中戦争について理解できるようになる。コンピテンス: E1, F1, I1。 ③予習(120分) 北岡伸一『日本政治史』の第11章を読んでくる。 ④復習(120分) もし満州事変がなかったらどのような事態が想定されたか考えてみる。
	8	①授業テーマ 戦前日本政治外交史⑦ ②授業概要 太平洋戦争の開戦経緯。太平洋戦争は日本史上、最大の危機であったといってよい。なぜそのような状況になったのか当時の政策決定過程から理解できるように

	なる。コンピテンス: E1, F1, I1。 ③予習 (120分) 北岡伸一『日本政治史』の第12章を読んでおく。 ④復習 (120分) 太平洋戦争は不可避だったのか纏めてみる。
9	①授業テーマ 戦後日本政治外交史① ②授業概要 終戦からサンフランシスコ条約を理解できるようになる。コンピテンス: E1, F1, I1。 ③予習 (240分) 北岡伸一『日本政治史』第13章を読んでおく。 ④復習 特になし。
10	①授業テーマ 戦後日本政治外交史② ②授業概要 55年体制の確立と日米安保条約を理解できるようになる。コンピテンス: E1, F1, I1。 ③予習 (120分) これまでの配布資料を基に、講義の内容を纏めておく。 ④復習 (120分) 北岡伸一『日本政治史』の第14章を読んでくる。
11	①講義テーマ 戦後日本政治外交史③ ②講義概要 沖縄返還問題を理解できるようになる。コンピテンス: E1, F1, I1。 ③予習 (120分) 北岡伸一『日本政治史』第15章を読んでくる。 ④復習 (120分) 戦後の沖縄について調べてみる。
12	①講義テーマ 戦後日本政治外交史④ ②講義概要 冷戦後の日本外交―湾岸戦争を理解できるようになる。コンピテンス: E1, F1, I1。 ③予習 (120分) 宮城大蔵『現代日本外交史』第1章を読んでくる。 ④復習 (120分) 自分が当時の日本の首相であれば、どのような決断を下したのか考えてみる。
13	①授業テーマ 戦後日本政治外交史⑤ ②授業概要 冷戦後の日本外交―朝鮮半島危機と日本の安全保障政策を理解できるようになる。コンピテンス: E1, F1, I1。 ③予習 (120分) 宮城大蔵『現代日本外交史』第4章を読んでくる。 ④復習 (240分) 小泉外交とは何だったのかについて考える。
14	①講義テーマ 戦後日本政治外交史⑥ ②講義概要 冷戦後の日本外交の課題。日本は隣国と歴史認識問題や安全保障上の課題を多く抱えている。今後、日本とアジア諸国はどうなっていくのか理解できるようになる。コンピテンス: E1, F1, I1。 ③予習 (240分) 宮城大蔵『現代日本外交史』の終章を読んでくる。 ④復習 特になし。
15	①授業テーマ まとめ ②授業概要 これまでの授業の内容を理解できるようになる。コンピテンス: E1, F1, I1。 ③予習 (240分) これまでの授業の内容を、配布した資料を基に纏めてくる。 ④復習 特になし。
関連科目	安全保障論1 (RMGT3551)、国際政治学 (RMGT3552)、防衛政策 (RMGT3557)
教科書	北岡伸一『日本政治史』(有斐閣)、宮城大蔵『現代日本外交史』(中公新書)
参考書・参考URL	五百旗頭真編『戦後日本外交史』(有斐閣)、ヘンリー・キッシンジャー『外交』、ゴードン・クレイグ『軍事力と現代外交』
連絡先・オフィスアワー	■オフィスアワー: 水曜日3限、金曜日3限 ■連絡先: 開講時に告知する
研究比率	■危機管理学領域での対応 グローバルセキュリティ90%、パブリックセキュリティ10% ■危機管理学と法学とのバランス 危機管理学90%、法学10%

